

内定実行団体一覧（申請受付順）

<p>団体名</p> <p>特定非営利活動法人 こどもの未来をかんがえる会</p> <p><u>※上記団体を幹事団体として、以下2団体とのコンソーシアムとして申請</u></p> <p>合同会社きざし</p> <p>富士見町商工会</p>
<p>事業名</p> <p>富士見・八ヶ岳山麓地域の未来のまちづくり・ラボ実現プロジェクト</p>
<p>長野県（富士見町）</p>
<p>助成金申請額 10,623,000 評価関連経費 90,000 助成金合計：10,713,000 円</p>
<p>●事業の概要</p> <p>長野県富士見町及び八ヶ岳山麓地域（山梨県北杜市、長野県諏訪地域等を含む）で地域の資源や宝を生かして、町民のニーズに対応し、町の課題解決につながる商品やサービスの創造を民間団体、事業者、行政、町民が一体となって取り組むリビングラボを実践する。</p> <p>具体的には、地域の経済循環の実態を分析するワークショップの開催等を通じて地域の関係者がつながるプラットフォームと学びと行動を促すリビングラボを地域内に生み出し、地域経済循環の取組を促す契機とする。同時に、子ども・若者の学びと育ちを支援する多世代の居場所づくりを継続的に行い、高校生たちの参加も得て自立的な活動に発展させていく。</p> <p>プラットフォームづくりを契機に、規格外の野菜などの未利用の野菜の地域内供給の仕組みを構築。これらの野菜等を活用して、上記の居場所に参加する子ども達や女性など多様な人たちの参加により、縄文文化を生かした新しい食のメニューを開発する。開発された食メニューをプラットフォームやリビングラボを通じ広く普及し、食の地域循環を促す仕組みづくりを通じて新たなソーシャルビジネスを生み出す基盤をつくる。</p>
<p>選定理由</p> <p>●評価できる点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの活動実績に基づき、交流の場、活躍の場、創造の場づくりを通じてソーシャルビジネスを創出しようとする先駆的な取り組み。 ・子ども・若者の居場所づくりを、よりポジティブに食の地域内循環に結びつける具体性が評価できる。 ・複数の関係者を巻き込んだ推進体制とここまでの取り組み成果を評価。モデルとなるよう頑張っ <p>てほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織もしっかりしていて実行力にも期待できる ・富士見町を基点にしながら県境を越え、北杜市を含む八ヶ岳地域をつなぐ事業になり得る。 <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業終了後の継続に向けた検討が課題。 ・推進はコンソーシアムメンバーでの意思疎通が重要。留意して欲しい。 ・県境をまたいだ取り組みも意識してほしい。

※助成額は実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております。

<p>団体名 特定非営利活動法人 河原部社</p>
<p>事業名 SOCIAL FOOD DELI 「ニラサキサラニ」</p>
<p>山梨県（韮崎市）</p>
<p>助成金申請額 15,000,000 評価関連経費 366,000 助成金合計：15,366,000 円</p>
<p>●事業の概要</p> <p>韮崎駅に隣接しているテナントを活用し、「若者×食×地域」で韮崎入り口の風景を生み出す、SOCIAL FOOD DELI 「ニラサキサラニ」（飲食事業）をゼロから立ち上げます。</p> <p>地域調査、事業構想、計画、資金調達、ハード面ソフト面整備を1年目に。飲食事業運営、さまざまなステークホルダーとの協働企画を2年目に。引継ぎ、事業自走化を3年目に行い、「若者の働く場」づくりを、実際に若者自身が実践することで、「地域の若者プレイヤーを育てていく」3ヶ年プロジェクトです。4年目以降は自走させ、事業の運営を通して持続的に若者プレイヤーがここから生まれていく循環を目指します。</p> <p>また、若者ならではの発想で地域の特産品開発や、立地を活かした観光窓口、関係案内所として機能し、地域と関係人口層を繋ぐハブとなることで、総合的に地域の活力を底上げしていく役割を担っていく事業となります。</p>
<p>選定理由</p> <p>●評価できる点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者の流出という問題に対して、働く場づくりを通じて地域の担い手を育成していこうとする意欲的な取り組み。 ・市の委託事業でここまで上げてきた実績はすばらしい。 ・シェアリングエコノミーやコレクティブインパクトの発想もぜひ活用してほしい。 ・若者自身の行動力に期待できる。 ・20代中心の法人だが、積極的に事業を展開しており、今事業にも信頼性が持てる。 <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業終了後の自走を視野に入れた計画が練られているものの、アウトカム指標の設定及び測定方法を検討してほしい。

※助成額は実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております。

<p>団体名</p> <p>特定非営利活動法人 bond place</p>
<p>事業名</p> <p>社会的処方を目指した生態系モデル構築事業</p>
<p>山梨県（南アルプス市）</p>
<p>助成金申請額 1,316,000 評価関連経費 658,000 助成金合計：13,818,000 円</p>
<p>●事業概要</p> <p>地域課題の明確化」「地域資源の発掘」を通して、山梨で起きている社会課題を解決する持続可能な地域づくりを目指す。その手段として、社会的処方というアプローチの実現化を図る。ここで大切にしていくことは、若者・高齢者・障害者などあらゆる人達と共に活動する共同体となることである。実践を通じての学びの機会を生み出していくことによって、若者には現場での実践を通じた教育を行い、多くの人を巻き込んでいくリーダーシップの発揮とフォロワー人材とのつながりづくりを狙う。</p> <p>山梨に残る、互いを尊重しおせっかいを作り合える文化のおかげで、すでに多くの地域資源はある。ただし、それらの地域資源が社会的孤立の当事者や専門機関につながっていないことが問題である。</p> <p>本事業を通じて地域資源がリンクワーカーによってつなぎ直されることによって、小さな活動にも意味と価値を与え、社会的孤立の解決へ一歩でも先に進めるためにアクションできる人材を増やしていく。</p>
<p>選定理由</p> <p>●評価できる点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「リンクワーカー」の育成により、地域の新たなつながりづくりを目指している。 ・社会的処方の重要性はよく評価できる。 ・南アルプス市から事業委託を継続している。代表理事は県内の講演会活動でも知られている。活動も長く実績もある。 <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目指すべきビジョンに対して、アウトカム指標及び事業内容に具体性を欠き、その実現に向けた道筋と具体的な効果が見えにくい。 ・理念はいいが、「社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援」への具体的な展開、最終年度のアウトプット、指標の設定をして欲しい。 ・社会的処方を学んだ75名のリンクワーカーの活動によって、現実の地域社会の中で小さくても良いので地域の課題が具体的に解決されることを指標にして欲しい。 ・助成金終了後の展開と持続性を求める。

※助成額は実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております。

<p>団体名 特定非営利活動法人スペースふう</p>
<p>事業名 リユースお弁当箱がつなぐ地域デザイン事業</p>
<p>山梨県（富士川町）</p>
<p>助成金申請額 14,924,000 評価関連経費 680,000 助成金合計：15,604,000 円</p>
<p>●事業概要</p> <p>しんどさを抱えやすい家庭（0歳児のいる家庭や中学3年生の子どもがいる家庭）へのニーズ調査及び配によるコミュニケーション。</p> <p>リユース弁当容器の運営による仕事（洗浄や検品等）やお弁当づくり、配送作業等を働きにくい若者や小さな子どもがいる母親等に働く場を提供する。</p> <p>このしくみを実施する上で、関わる人たちの研修を受ける。</p>
<p>選定理由</p> <p>●評価できる点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リユース食器によるお弁当の宅配サービスを通じて、相談と働く場づくりを行う意欲的な取り組み。 ・長年のリサイクル食器事業による実績と地域課題の掛けあわせた着想が素晴らしい。ガバナンスとコンプライアンスは安心できる。 ・事業計画内容も現実的で妥当。事業は若い世代が対象であり、この事業を通じて、組織の中心になる若手メンバーを育てて欲しい。そして県内や近隣間県のイベントでは全てリサイクル容器に置き換える位でさらに活躍してほしい。 ・具体的な取組が示されていて、評価できる。 ・富士川町の主婦を中心にリユース食器への取り組みで長い実績がある。この取り組みをさらに発展させる形での女性や貧困対策で、具体的であり、期待が持てる。 <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アウトカム指標や事業の具体性や事業の継続性がどのように担保されるのか不明。事業スキームや実施体制などの明確化が必要。 ・お弁当代は受益者から必ず受領してほしい。それがこの事業自体の持続可能性につながる。

※助成額は実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております。

<p>団体名 地域活性化工房 杜の風舎</p>
<p>事業名 別所温泉 里山アグロフォレストリープロジェクト</p>
<p>長野県（上田市）</p>
<p>助成金申請額 11,988,800 評価関連経費 0 助成金合計：11,988,800 円</p>
<p>●事業概要</p> <p>国際的には SDGs や SATOYAMA イニシアチブなど、自然と調和した日本の里山の暮らしの価値が見直されている中、本事業では昨年のワークショップで明らかになった地域課題を踏まえ、上田市塩田の野倉地区上手地区に森の生態系にそったアグロフォレストリーを作り、そこを拠点に里山暮らしの知恵と技を伝承し、次世代が地域資源を活用して起業できるよう支援する、講座、ワークショップ、体験受け入れなどを行う。里山文化を伝える地域の名人も高齢化していることから、里山暮らしを記録し、映像を通じた伝達も行う。</p> <p>また、この過程で、次世代の地域資源へのアクセスの障壁となっている所有者不明山林、空き家問題などの課題を抽出し、所有者と利用希望者を民間が丁寧に仲介する仕組み、新規参加者と古い住民との相互理解を深め、里山の荒廃を食い止める仕組みなど、若者と共に新たな里山ビジネスを作りながら他地域のモデルとなるような取り組みを模索していく。</p>
<p>選定理由</p> <p>●評価できる点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域との信頼関係を構築しており、支援側の体制は充実している。 ・事業内容自体は地域課題をよく捉えており、推進を期待したい。準備会での実績と地域の大学との関りも評価。 ・評価できる。計画を着実にこなしてほしい。 ・1年間のリサーチ、準備を経ていることで、堅実性ととも将来設計の安定性を感じる。全国的な課題である空き家対策と衰退する林業を結び付ける面白い試みだと思う。 <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当事者となる住民や住民間の関係が見えにくく、事業化に向けた合意形が重要。 ・法人設立ということだがガバナンスやコンプライアンスを担保してほしい。 ・助成金の使途が外注や委託が多く、特に、活動拠点づくりに多く計上されているが、むしろ参加者を募って手がける方が社会関係資本の蓄積にもなるのではないか。 ・使途について適切で効果的になるよう伴走支援を期待する。

※助成額は実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております。